

NORTHERN
Horse Park
NEWS RELEASE
ノーザンホースパーク ニュースリリース



報道関係各位

2023年10月18日

自然の恵みを活かした季節を感じるフラワーアレンジメント

「梅木あゆみのクリスマスリース&スワッグ教室」開催のお知らせ

2023年11月24日（金）～11月25日（土）

株式会社ノーザンホースパーク（所在地：北海道苫小牧市 代表者：代表取締役吉田 勝己）が運営する、北海道の大自然のなか、馬とのふれあいを楽しめるテーマパーク「ノーザンホースパーク」は、「Brilliant Moments～輝く^{ひととき}時間」をコンセプトにサービスを提供しております。このたびポタニカルガーデンの植物を使用して伝統的なクリスマス飾りのリースとスワッグを作る「梅木あゆみのクリスマスリース&スワッグ教室」を2023年11月24日（金）、11月25日（土）に開催いたします。



4月から10月まで、季節を通して約1,000品種の草花が咲き誇る「ポタニカルガーデン」のガーデンデザイナーである梅木あゆみ氏を講師に迎えて開催する「梅木あゆみのクリスマスリース教室」は今年で15回目を迎える人気イベントです。

教室では、夏にボタニカルガーデンを彩った純白のアジサイ「アナベル」が美しい秋色グリーンに変化したドライフラワーを使用した「アナベルリース」と、生の針葉樹や木の実を使用し、まるで森林にいるような爽やかな香りも楽しめる伝統的なリースづくり「フレッシュリース」をご体験いただけます。また、今年は新たにヨーロッパで魔除け・幸福を呼ぶアイテムとして古くから親しまれている壁飾り「スワッグ」もご用意いたします。ナチュラルな雰囲気がありながら華やかなスワッグは、ボタニカルガーデンを彩った草花のドライフラワーを束ねて作ります。梅木氏による丁寧なレクチャーを受けられるので、お子様や初心者の方もお気軽にお楽しみいただけます。

世界にひとつだけの手作りクリスマスリースを通して、暮らしに花や植物を取り入れ生活空間をより豊かにするボタニカルライフをお過ごしいただくとともに、心あたたまるホリデーシーズンをお過ごしください。

ノーザンホースパークでは今後も「輝く^{ひととき}時間」をゲストの皆様にご提供すべく、豊かな自然環境を守り、人と馬がともに生きる持続可能な日本の社会と、馬事文化の発展に貢献すべく運営を行ってまいります。

◆イベント概要

【日 時】2023年11月24日（金）、11月25日（土）

- ① 10：00～12：30（アナベルリースまたはスワッグ）
- ② 13：30～16：00（フレッシュリース）

【会 場】ノーザンホースパーク きゅう舎1

【定 員】各回12名（予約制）

【料 金】アナベルリース 3,500円、スワッグ 3,500円、フレッシュリース 6,000円

※料金はすべて税込み

※同料金で材料のみの購入も可能

【持ち物】ラジオペンチ、枝切り用のはさみ

【服 装】汚れてもいい服装でお越しください

※ニット、フリース素材はドライフラワーが付きやすいのでご注意ください。

【特 典】レストラン500円サービス券プレゼント

（レストラン ディアド ブエナビスタ、パラッツォ・ベガ ポニー館スーベニアショップのパン購入にご利用いただけます）

※当日の教室受付でお渡しいたします。午後の教室に参加される方で特典を利用される場合は12：30まで

に受付をお済ませください。

※割引券は当日限り有効です。

【予約受付開始】2023年10月21日（土）9：00より

【ご予約・お問い合わせ】ノーザンホースパーク クリスマスリース&スワッグ教室担当

TEL0144-58-2116（9：00～17：00）※11月6日以降は10：00～16：00

◆ガーデナー 梅木あゆみ氏について



1995年、生産直売店「コテージガーデン」を起業。年間を通し2,000品種以上の植物苗を生産し、札幌市百合が原公園ガーデンショップの売店も経営。国営滝野すずらん丘陵公園、層雲峡温泉から個人庭園などの企画・設計・工事・管理を行う。2009年度北海道「輝く女性のチャレンジ賞」、2010年度内閣府「女性のチャレンジ賞」受賞。2020年コテージガーデン代表を退任し、「あゆみデザイン」開業。

◆ノーザンホースパークについて

1989年7月より、北海道の雄大な自然と馬の魅力を伝え「輝く^{ひよとま}時間」を皆様にお届けすべくテーマパークを運営。総敷地面積48万平方メートルという広大な敷地に約80頭もの馬がゲストを出迎える。競走馬生産育成牧場のリーディングファームであるノーザンファームを母体とし、北海道のサラブレッド生産の歴史や馬の生態を学べる資料館など「楽しむ」だけでなく「学べる」プログラムも展開。また引退競走馬のセカンドキャリア支援や馬の排泄物を利用した堆肥の活用など、事業に基づいた持続可能な社会を目指した取り組みも開園以来行っている。